

NPO法人 通信 第10号

★巻頭言

日頃より、NPO法人「道」の活動にご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。平成24年2月より小町に就労継続支援事業所「道工房」を開設し、また扇ガ谷今小路ではこの4月から作業所が廃止となり新たに地域活動支援センター 倶楽部「道」として再スタートするなど開所10年を迎え大きな節目の時期となりました。

この10年を振り返り先ず思うことは、通信第3号にも述べた亀井勝一郎氏の「人生とは邂逅と謝念」という言葉です。「たとい安定したようにみえても、常に不安定なものが前方にあらわれてくる。その不安定のものに耐えて、それを切り抜けて行く勇氣そのものが幸福だと感ずるためには邂逅の謝念が前提となっていなければなるまい。」と述べています。「作業所の立ち上げ」「補助金なしでの2年間」「自立支援法」「作業所の廃止」「道工房の開設」など不安定なものに耐えて続けてこられたのも、本当にたくさんの方に巡り合い支えられてきたおかげだと思います。その一つひとつに感謝の念をいただきながらきた10年だったと思います。

「道工房」を開設した小町でも大家さんをはじめ近隣の方や商店会の皆様にも温かく迎え入れていただきました。日本は本来、我が国特有の「寡黙の文化」などが手伝って障害者に対する受容度が高い社会であったと言われています。NPO法人「道」は日本古来の資質「やさしさ・共助」の精神をもって、そうした社会を目指して真摯に勇氣をもって努力を続けて参ります。今後ともご指導とご支援をよろしく申し上げます。

平成24年8月 岩立実勇
